

不登校の子どもの 算数・数学学習支援 最前線

京都教育大学教育学部
黒田恭史

アウトライン

(1) 不登校の定義・要因

(2) 不登校の推移実態

(3) 学習支援

(4) 不登校後の状況

不登校の定義

- 不登校：年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいは登校したくてもできない状況にあること（ただし、病気、経済的な理由、コロナ禍によるものを除く）。
- 長期欠席児童・生徒：年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒の総数

アウトライン

(1) 不登校の定義

(2) 不登校の推移実態

(3) 学習支援

(4) 不登校後の状況

不登校児童・生徒の実態

【小学校】

区分(年度)	不登校児童数(前年度比)
2021年度	<u>81,498名(+29p)</u>
2020年度	63,350名(+19p)
2019年度	53,350名(+19p)

【中学校】

区分(年度)	不登校生徒数(前年度比)
2021年度	<u>163,442名(+23p)</u>
2020年度	132,777名(+4p)
2019年度	127,922名(+7p)

(令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」
文部科学省初等中等教育局児童生徒課(令和4年10月))

- 小学生は8万1千人超，中学生は16万3千人超
- ここ10年間の高止まり状況から小学校を中心に急激な増加傾向
- 小学生は77人に1人，中学生は20人に1人が不登校
- 中学校では1クラスに約1～2名の不登校生徒
- 中学校での自学自習用教材が学力保障の支え

長期欠席児童・生徒の実態

長期欠席児童・生徒:不登校、病欠、経済困窮、その他、コロナ禍含む

【小学校】 不登校 81,498名(+29%)

【中学校】 不登校 163,442名(+23%)

区分(年度)	欠席児童数(前年度比)
2021年度	<u>180,875名(+59p)</u>
2020年度	113,746名(+26p)
2019年度	90,089名(+7p)

区分(年度)	欠席生徒数(前年度比)
2021年度	<u>232,875名(+34p)</u>
2020年度	174,001名(+7p)
2019年度	162,736名(+4p)

(令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」
文部科学省初等中等教育局児童生徒課(令和4年10月))

- 小学生は18万人超, 中学生は23万2千人
- 新型コロナウイルスの影響により, 小学校において
大幅な長期欠席児童の増加
- 小学生は35人に1人, 中学生は14人に1人が長期欠席
- 中学校では1クラスに約2名の長期欠席生徒
- 小・中学校の双方で教科の自学自習用教材が必要

不登校・長期欠席児童・生徒の実態

学校種別		小学校							中学校			
	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年生	2年生	3年生	合計
不登校	2019年度	2,744	4,549	6,715	9,466	13,282	16,594	53,350	34,324	45,327	48,271	127,922
	2020年度	3,395	5,335	8,028	11,108	15,603	19,881	63,350	35,998	48,723	48,056	132,777
	2021年度	4,534	7,269	10,289	14,712	19,690	25,004	81,498	45,778	58,740	58,924	163,442
	増加率	133.5%	136.3%	128.2%	132.4%	126.2%	125.8%	118.7%	127.2%	120.6%	122.6%	123.1%
長期欠席	2019年度	6,983	9,386	12,054	15,556	20,589	25,521	90,089	44,225	57,655	60,856	162,736
	2020年度	9,134	11,982	15,336	19,578	25,017	32,699	113,746	47,955	63,649	62,397	174,001
	2021年度	17,164	21,081	25,579	31,619	38,284	47,148	180,875	66,203	82,941	83,731	232,875
	増加率	187.9%	175.9%	166.8%	161.5%	153.0%	144.2%	159.0%	138.1%	130.3%	134.2%	133.8%
前年度から不登校	2019年度	6,983	1,417	2,429	3,768	5,898	8,345	28,840	9,804	25,873	34,171	69,848
	2020年度	—	1,609	2,843	4,427	6,553	9,351	24,783	10,909	27,376	34,014	72,299
	2021年度	—	2,233	3,704	5,823	8,378	12,013	32,151	12,992	30,784	39,752	83,528
	増加率	—	138.8%	130.3%	131.5%	127.8%	128.5%	129.7%	119.1%	112.4%	116.9%	115.5%

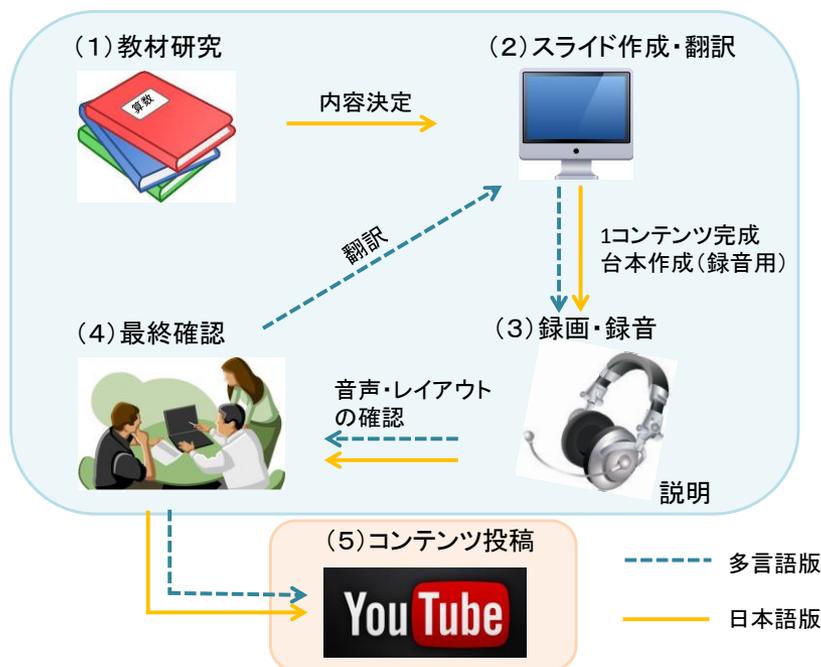
- 不登校・長期欠席児童とともに、**小学校の全ての学年での増加が顕著**
- 小学生は**1年生**，中学生は**2年生が最大の増加**
- 小学校低・中学年での，**前年度から不登校率が増加**
- 長期休校等の影響に対して**小学校での特別な手立て**

アウトライン

- (1) 不登校の定義
- (2) 不登校の推移実態
- (3) 学習支援
- (4) 不登校後の状況

制作工程とコンテンツ構成

制作工程



コンテンツ構成

● 動画コンテンツの流れ(3分間)

【①タイトルについて】

【タイトル】・・・HGSゴシック体, 36P
小単元名, 対象学年表示

①タイトル
たし算のひっ算
- 2けた+1けたの
くり上がりあり③ -
(小学校2年生)

②説明《ルール》

①ひっ算は、くりをそろえる
②繰は、ものさしで引く
③一のくりがら計算
④くり上がり→十のくりの上
⑤十のくりの計算
⑥くり上がり→百のくりの上
⑦百のくりの計算
⑧たえを書く

98+8

③練習
れんしゅう
☆ひっ算で計算をしよう!

① 99+9
② 97

【②説明に関して】

左半分
◆《ルール》・・・MSPゴシック体, 24P
◆本文・・・MSP明朝体, 18P
箇条書き

右半分 内容
◆学習内容・・・教科書体

④まとめ
まとめ

①ひっ算は、くりをそろえる
②繰は、ものさしで引く
③一のくりがら計算
④くり上がり→十のくりの上
⑤十のくりの計算
⑥くり上がり→百のくりの上
⑦百のくりの計算
⑧たえを書く

97+8

- 制作工程：システム化してコンテンツの質と量の保証
- コンテンツ構成：統一することで学習者の安心感と安定感

小学校算数版コンテンツ

$$721 - 94$$

《ルール》

- ①ひっ算は、くらいをそろえる
- ②線は、ものさしで引く
- ③一のくらいから計算
十のくらいから1くり下げる
- ④十のくらいの計算
百のくらいから1くり下げる
- ⑤百のくらいの計算
- ⑥こたえを書く

	6	1	
	7	2	1
-		9	4
			7

$10 - 9 = 1$
 $1 + 1 = 2$

アウトライン

- (1) 不登校の定義
- (2) 不登校の推移実態
- (3) 学習支援
- (4) 不登校後の状況

不登校・ひきこもり・ニート調査概要

調査対象: 全国の13歳から29歳までの男女 N=10,000

13～14歳:1,120, 15～19歳:2,903, 20～24歳:2,884, 25～29歳:3,093

調査時期: 令和元年11月1日から12月2日

調査方法: インターネット調査

調査目的: 子供・若者を取り巻く諸課題に対し、子供・若者がどのように考えているのか、また、政府、地方自治体、民間団体等による子供・若者育成支援施策について、施策の当事者である子供・若者がどのように考えているのか、どのような施策を期待しているのかなどを把握し、今後の企画立案に資すること

・**不登校**: 年度間に連続又は断続して30日以上欠席した生徒のうち何らかの心理的, 情緒的, 身体的, あるいは社会的要因・背景により, 登校しないあるいは登校したくてもできない状況にあること(ただし, 病気や経済的な理由によるものを除く)。

・**ひきこもり**: ふだんほとんど外出をしない(自室からほとんど出ない, 自室からは出るが家からは出ない, 近所のコンビニなどには出かける, 趣味の用事の時だけ外出する)状態が, 6カ月以上であること。ただし, 身体的病気や自宅での仕事のため外出できない場合は除きますが, 妊娠, 出産, 育児, 家事, 看護, 介護などのために外出せず, 家族以外とほとんど会話もしていない場合は含みます。

・**ニート**: 就労していない。また, 仕事を探しておらず, 家事も通学もしていないこと。(15歳以上の方)

不登校・ひきこもり・ニート調査結果

	13-14 歳 N=1,120	15-19 歳 N=2,903	20-24 歳 N=2,884	25-29 歳 N=3,093
不登校	4.8%	17.5%	16.6%	12.9%
ひきこもり	1.8%	11.5%	14.6%	13.5%
ニート	0.0%	6.4%	15.5%	21.9%

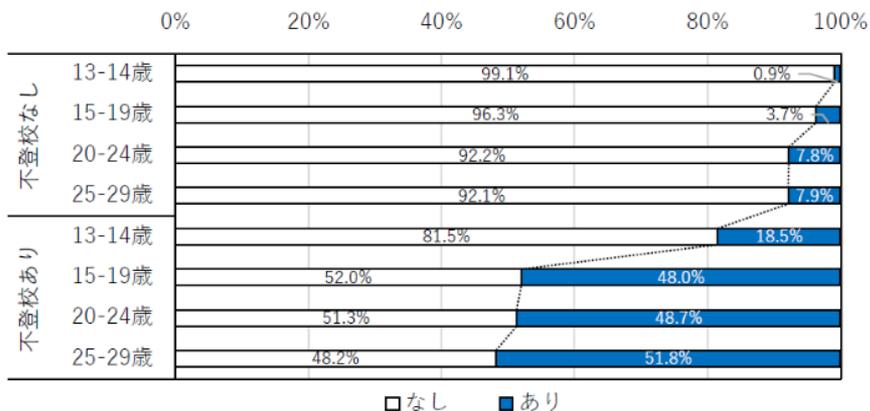


図3 年代別の不登校とひきこもりの関係

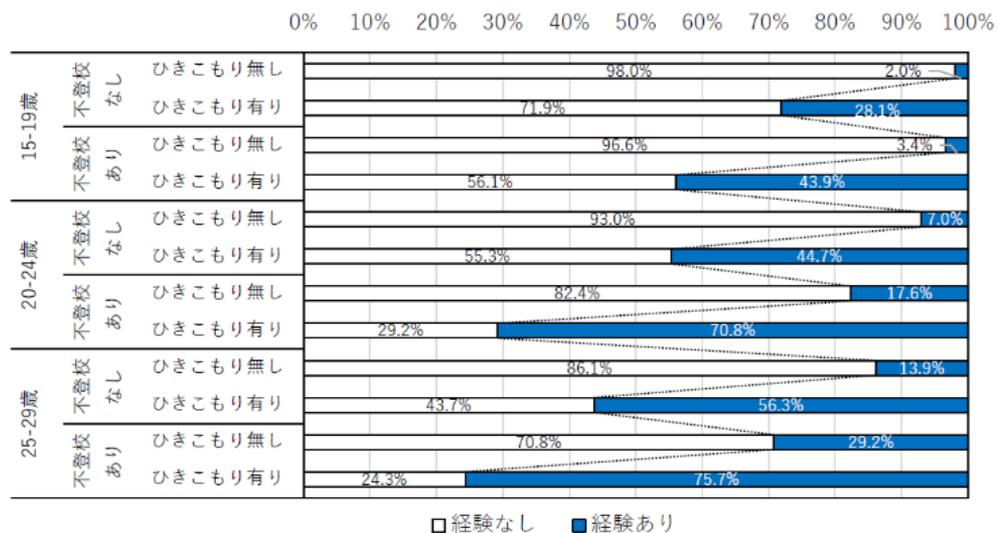
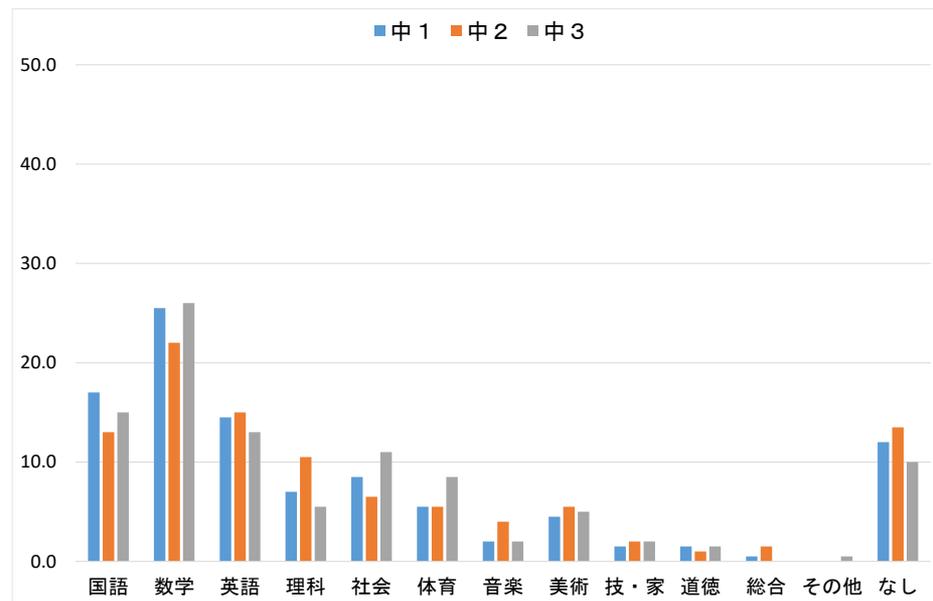
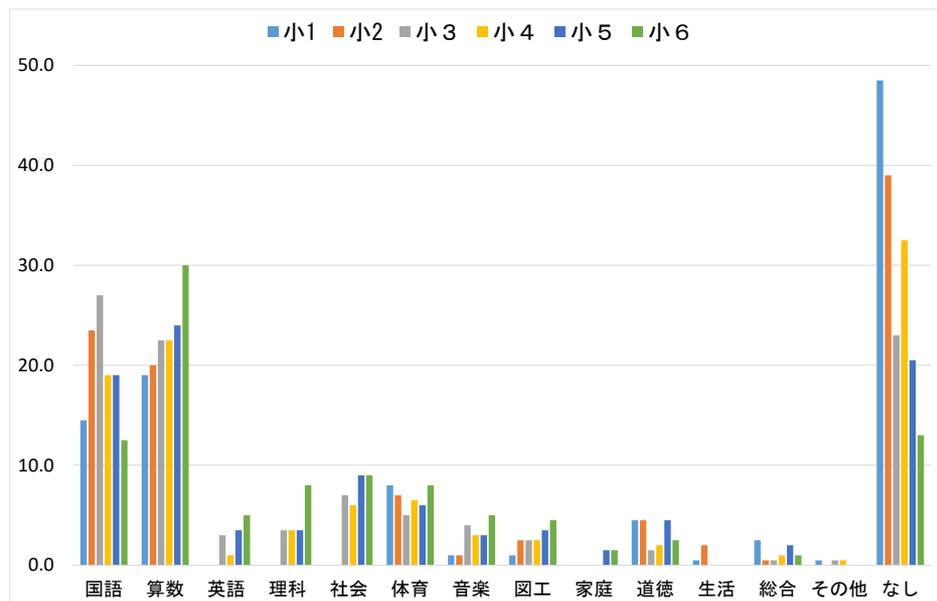


図10 不登校・ひきこもりとニートの関係

一番嫌いな教科

調査内容	小学生・中学生の日常生活に関する調査
調査手法	インターネット調査
調査期間	2020年8月26日～8月31日
調査対象者	小学1年生から中学3年生まで各学年(男子100名, 女子100名, 計200名) N=1,800
調査項目	一番嫌いな教科は何ですか。



まとめ

- 1) コロナ禍以降、不登校児童・生徒数は、急増している(とりわけ小学校)
- 2) 注目されていない長期欠席児童・生徒数は、それ以上に急増している
- 3) 不登校から、ひきこもり、ニートへとつながる関連性が高い
- 4) 自分たちで教材を作るだけでなく、オンライン上の良質なコンテンツを活用